

グリーンプラン・パートナーシップ事業(4号事業) 概要説明

1. 事業概要					
実施主体	岡山県真庭市	実施場所	岡山県真庭市蒜山下和1080-1		
共同実施者	—	推薦者	—		
2. 事業内容					

事業名称	温泉施設への薪ボイラー導入による二酸化炭素削減と生物多様性保全				
導入設備	薪ボイラー				
26年度補助金交付希望額	11,466千円(実施設計・設備導入)	実施予定期間	平成26年度	事業実施後のCO2削減効果(見込)	152 t-CO2/年
事業内容	<p>地域住民の冠婚葬祭の場であり、観光の拠点でもある温泉施設のボイラーに薪ボイラーを導入する。燃料の供給に当たっては、生物の生息環境も勘案しつつ、荒廃しつつある里山の整備により発生する草本・木質バイオマス燃料を供給することで、低炭素化と生物多様性保全とを一体的に実現する。なお、企業社員・市民から、里山保全活動により発生する草本・木質バイオマス燃料を温泉入浴券と引き替えに買い取るなど、地域経済・コミュニティの活性化につながるような仕組みづくりをする。</p> <p style="text-align: center;">【美しい里山の保全・生き物いっぱいの里山の保全】</p>				

3. 地域への普及方針等	
普及方針	事業実施区域のランドマークである温泉施設に薪ボイラーを導入する本事業をモデルケースとして、真庭市内には多数存在する温泉施設に順次拡大していく。
生物多様性保全方針	事業実施地区には、環境省レッドデータブックに掲載された生物・植物が数多く生息するなど、保全の必要性の高い地域であり、既に行っている生態系モニタリングの知見を活かしつつ、様々な種類の生き物が生息できる環境の多様性を創り出すことで、地域全体の生物の多様性を高めていく。
副次的効果	地域住民による薪供給体制を構築することで、地域外への資金の流出から、地域内への資金の循環への転換を図ることができ、地域活性化や新たな雇用創出の場を期待できる。